🏠外猫たちに、あたたかな居場所を

木曽ネコ会の手づくり猫ハウス紹介

寒さや雨風から外猫たちを守るため、木曽ネコ会ではオリジナルの猫ハウスを制作・設置しています。地域の環境に合わせて、丈夫で目立ちすぎず、猫たちが安心して過ごせる工夫が詰まっています。

📷写真で見る猫ハウス

完成形
（布で覆われた落ち着いた外観）

制作途中
（発泡スチロール＋保温シート）

使用する保温シート
（ダイソー製）

📦材料一覧

材料	特徴・用途
発泡スチロール箱	断熱性が高く軽量
段ボール	保温・湿気対策
防水布※屋根がある場所ならどんな布でも OK	ひっかき防止、外観カバー
保温シート（ダイソー）	防風・防水・保温性◎
毛布・藁など	保温材として使用
レンガ・重し	風対策、安定性
ガムテープ・ボンド・カッター	組み立て用

🔧作り方のポイント

1. 発泡スチロールの凸凹をガムテープで補修
2. 出入口は小さめにカット（冷気・他動物対策）※木曽ネコ会では、穴の大きさは 12～13cm 四方を目安にしており、ネコの頭の二回りくらいがちょうど良い。

3. 発泡スチロールの採寸を行う
4. 発泡スチロールのサイズに合わせて、段ボールとアルミシートをカットする
5. 蓋の裏に保温シートをしっかり糊付け

※蓋の裏は特にしっかり糊付けしないと、すぐに剥がれてしまうので注意。

6. 側面には軽く糊付けして保温シートを貼る

※少し糊付けしておくと作業がしやすくなる。

7. 蓋のアルミシートを貼り終えたら、糊が完全に乾いてからその上に段ボールを貼る※乾いてから貼ることで、作業がしやすくなる。
8. 蓋の段ボールには、糊が乾くまで重石を乗せておく
9. 側面と底の段ボールを隙間のないように貼る

※底は地面からの冷え込みを考慮し、二重にするのが理想的。糊付けは不要だが、発泡スチロールの凹凸が大きい場合は、隙間にガムテープを貼ると安定する。

☔ 雨・湿気・設置場所の工夫

- 出入口にひさしやカバーをつけると雨が入りにくくなる
  ※ただし、警戒して入らない子も多いため、最初は蓋を取って置くなど様子を見ながら調整を
- 蓋は開け閉めできるように作成する（掃除や保温材の交換がしやすくなる）
- 地面に直接置かず、レンガなどで少し浮かせると湿気対策にもなる
- 猫が落ち着く場所に設置する※人通りが少なく、風雨を避けられる静かな場所が理想

🌟 制作者の想い

この猫ハウスは、木曽ネコ会員の**河合とも子さん**が心を込めて制作しています。
「猫たちが安心して過ごせるように」そんな想いが詰まった、猫と地域に寄り添う工夫がいっぱいです。

木祖村の猫たち

🐾 設置してみたい方へ

「うちの近くにも置いてみたい」そんな方は、ぜひ参考にしてみてください。ご相談もお気軽にどうぞ！

📬 お問い合わせ・ご相談はこちら

木曽ネコ会　📞 電話：080-3530-6419（唐澤）
Instagram / Facebook もやってます🐾※DM からのご連絡もお気軽にどうぞ！